

空気圧を巧みに操るからくり師

1818年に壊れたオランダ製の気砲（空気銃の元祖）を初めて見せられた鉄砲鍛冶の国友一貫斎は、その構造を理解し、わずか1ヶ月で直してしまいました。また、一貫斎は改良を加え、オリジナルよりも優れた空気銃を作り上げました。

さらには、空気を圧縮する過程で、空気自体に重さがあることに日本人で初めて気付いた人でもあります。その後、空気圧を巧みに操る技術で、無尽燈やからくり噴水などが作られました。



気砲

気圧を巧みに操る技術で、無尽燈やからくり噴水などが作られました。



気砲



気砲 (空気銃)
Kiho (Origin of air guns)
国友一貫齋はオランダの空気銃の知識やそれを修理する機会を得て、オランダ製を上回る空気銃の模作に成功しました。その説明として書いた「気砲記」の図にあるように、ポンプで空気を圧縮し、その力で弾丸を発射します。
付属品: 「気砲記」「試射痕のある標的」「玉入」「玉」「玉型」など
1819-1820年

気砲 (空気銃)

Kiho (Origin of air guns)

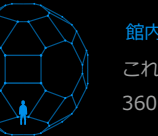
国友一貫齋はオランダの空気銃の知識やそれを修理する機会を得て、オランダ製を上回る空気銃の模作に成功しました。その説明として書いた「気砲記」の図にあるように、ポンプで空気を圧縮し、その力で弾丸を発射します。

付属品: 「気砲記」「試射痕のある標的」「玉入」「玉」「玉型」など

館内企画展アーカイブ

バーチャル展示室

THE VIRTUAL
EXHIBITION ROOM 360



館内企画展アーカイブ **バーチャル展示室360** > <http://www.tcmit.org/360virtual/>

これまでにトヨタ産業技術記念館で開催した企画展をご紹介します。デジタルアーカイブです。

360度VRコンテンツで、臨場感溢れるバーチャル展示をお楽しみください。



トヨタ産業技術記念館

当サイトに掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。

Copyright(C) Toyota Commemorative Museum of Industry and Technology All rights reserved.